

予 算 要 求 資 料

令和 6 年度 3 月 補正 予算

支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：家畜保健衛生費

事業名 高病原性鳥インフルエンザ防疫対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 家畜防疫対策課 防疫指導係 電話番号：058-272-1111(内4159)

E-mail：c11449@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 213,600 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	213,600	101,860	0	0	0	0	0	0	111,740
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

・令和 6 年 1 月 1 日 9 日に本県市内の養鶏農場において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたことから、国の「高病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、防疫措置 (殺処分等) を行う必要がある。

(2) 事業内容

- ・高病原性鳥インフルエンザの発生農場等において防疫措置を実施
- ・発生農場において鶏の殺処分、汚染物の処理、農場の消毒等を実施
- ・発生農場周辺において移動・搬出制限区域内へ出入りする車両の消毒ポイントの設置
- ・移動式焼却炉を活用した鶏の焼却処分等

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・家畜伝染病予防法の規定に基づく。
 - ・国の全額負担：家畜防疫員旅費、検査薬品費、消毒薬品費
 - ・国の半額負担：動物用生物学的製剤費、防疫資材費、埋却費
 - ・県の全額負担：その他

(4) 類似事業の有無

- ・無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	400	医師等報償費
旅費	2,350	防疫作業従事者等旅費
需用費	48,750	防疫作業用消耗品費、燃料費
役員費	1,000	防疫作業用資材運搬費等
委託料	154,800	焼却業務、消毒ポイント設置・運營業務等
使用料・賃借料	5,000	防疫作業用機材、バス・レンタカー等借上料等
負担金	1,300	看護師等派遣負担金
合計	213,600	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略(R5～9)
 - 2 健やかで安らかな地域づくり
 - (2) 安らかに暮らせる地域づくり
 - ⑥災害と危機事案に強い岐阜県づくり
- ・「ぎふ農業・農村基本計画」(R3～7)
 - (2) 安心して身近な「ぎふの食」づくり
 - ④家畜伝染病に対応できる畜産産地づくり

(2) 国・他県の状況

- ・他県においても発生時には同様の対応である。

(3) 後年度の財政負担

- ・伝染病疾病の発生状況により、後年度も財政負担が必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・家畜伝染病予防法により都道府県が事業主体と定められている。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

国の「高病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、防疫措置（殺処分等）を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

緊急的な対策であり、指標設定等は困難

（これまでの取組内容と成果）

令和 3 年度	
令和 4 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ % 高病原性鳥インフルエンザの発生農場については、速やかな防疫装置の実施により、まん延防止に寄与した。
令和 5 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家畜伝染病予防法第3条の2第3項により、高病原性鳥インフルエンザが発生した場合には、都道府県において、国の防疫指針に基づき防疫措置を実施することとされている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 県内での再発を防止するため、飼養衛生管理の再徹底、継続的な消毒など、農場防疫を強化・徹底する必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 各農場において、衛生管理基準の遵守、徹底がなされるよう引き続き指導等を行っていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	